

大谷大学  
2010年度 大学院特別セミナー

Religious Studies Approaches to  
the Study of Shin Buddhism:  
Classical Theories of Religion

宗教学的アプローチによる真宗研究

— 古典的宗教理論と近代真宗 —

ジェームズ・C・ドビンス

(オーバーリン大学教授・大谷大学客員教授)



ジェームズ・C・ドビンス教授  
(James C. Dobbins)

エール大学宗教学部大学院において日本宗教史を専攻し、1984年に宗教学博士の学位を取得。学位論文の題目は“The Emergence of Orthodoxy: A Historical Study of Heresy in the Early Jōdo Shinshū”「正統の出現：初期浄土真宗における異義に関する歴史的研究」。この学位論文をもとに1989年に *Jōdo Shinshū: Shin Buddhism in Medieval Japan* 『浄土真宗：中世日本の真宗』を出版。英語圏における真宗研究の名著として高い評価を受け、2002年にはハワイ大学出版から再版されている。2004年には同じくハワイ大学出版から *Letters of the Nun Eshinni: Images of Pure Land Buddhism in Medieval Japan* 『恵信尼消息：中世日本浄土教の諸相』を出版し、これも学界で高い評価を得ている。

1984年からオハイオ州のオーバーリン大学の宗教学部において日本仏教・東アジア学の講座を担当し、現在はフェアチャイルド基金による宗教・東アジア学教授。この間、国際真宗学会の常任理事をはじめ、アメリカ宗教学会、アジア学会などにおいても要職を務めている。

専門領域は、真宗史・日本浄土教史・日本仏教美術史・東アジア宗教史。

上記の著書の他に、“Portraits of Shinran in Medieval Pure Land Buddhism” in *Living Images: Japanese Buddhist Icons in Context* (Stanford University Press, 2001), “Envisioning Kamakura Buddhism” in *Re-Visioning Kamakura Buddhism* (University of Hawai‘i Press, 1998) などの学術論文多数。

■セミナー開講

日程：8月30日(月) 講義・ディスカッション  
8月31日(火) 講義・ディスカッション  
9月1日(水) 講義・ディスカッション  
9月2日(木) 講義・ディスカッション  
9月6日(月) 講義・ディスカッション  
9月7日(火) 講義・ディスカッション  
9月8日(水) 講義・ディスカッション  
9月9日(木) 講義のみ  
時間：10時40分～12時10分 講義  
13時00分～14時30分 ディスカッション  
※9月9日(木)は、講義のみ実施します。  
場所：大谷大学マルチメディア演習室(響流館3階)

■公開講演会

日時：9月10日(金)16時20分～17時50分  
題目：Eshinni's World: Images of Pure Land Buddhism  
Through the "Letters of Eshinni"  
恵信尼の世界：「恵信尼の手紙」を通して見た浄土教の諸相  
場所：大谷大学メディアホール(響流館3階)

■参加資格

- ① 大学院生(K-GURSの単位互換で単位取得希望の方は、出来る限り全期間受講可能であること)
  - ② 上記テーマの研究に従事もしくは関心のある研究者
- ※ 講義のみ、ディスカッションのみ、公開講演会のみ参加も可能です。

■その他

- ① 参加費用は無料です。
- ② 講義は英語で行われますが、その内容については和訳のプリントを参照できます。午後のディスカッションには日本語と英語の両方で参加が可能です。
- ③ 受講希望の方は、氏名、所属(大学名等)、連絡先(住所・電話番号等)を明記の上、ハガキ、FAXまたはEメールにて8月23日(月)までに下記へお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先

大谷大学 学生支援部教務課

〒603-8143京都市北区小山上総町  
TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150  
E-mail kyoumu@sec.otani.ac.jp

## ■講義概要

# Religious Studies Approaches to the Study of Shin Buddhism: Classical Theories of Religion 宗教学的アプローチによる真宗研究 — 古典的宗教理論と近代真宗 —

---

第1回：8月30日(月)	「近代真宗の始まりと西欧における宗教学の勃興」
第2回：8月31日(火)	「“科学的”宗教研究の始まり」
第3回：9月 1日(水)	「社会現象としての宗教」
第4回：9月 2日(木)	「心理現象としての宗教」
第5回：9月 6日(月)	「宗教経験と神秘主義の思想」
第6回：9月 7日(火)	「宗教における神話と儀礼」
第7回：9月 8日(水)	「文献学的・神学的な宗教研究」
第8回：9月 9日(木)	「宗教学における方法論的批判とポストモダンの転機」
第9回：9月10日(金)	公開講演とレセプション

2010年と2011年の2回開講される大学院特別セミナーの初年度にあたる本年のセミナーは、19世紀後半から20世紀の西欧における宗教学の発展に焦点をあて、神話学・文献学・哲学・人類学・社会学・心理学・現象学など様々な視座から「宗教」を分析研究した思想家・理論家について幅広く概観します。さらにその宗教学の発展を背景に、近代日本の真宗研究における主要な出来事について考察し、その発展と傾向について吟味します。西欧の宗教学で用いられてきた様々なアプローチは、日本の真宗研究にどのように応用できるのか（あるいは適合しないのか）という点についても探求します。また、西欧の宗教学における「宗教」に関する諸前提を分析し、それらが日本の仏教学・真宗学における諸前提とどのように乖離しているのかを明らかにします。このセミナーの重要な焦点の一つは、西欧の宗教学と近代日本の真宗学を産み出し形成したそれぞれの歴史的文化的背景です。西欧の宗教理論や概念を日本における仏教の学術研究に単純に応用することができないのは、その歴史的文化的背景の違いによると考えられるからです。一言でいうなら、このセミナーでは、西欧の宗教学について、日本の近代真宗研究との接点と相違点に注目した歴史的概観をおこないます。

\*この大学院特別セミナーは、アメリカの大学院修士課程で必須とされる理論や方法論を幅広く学ぶことのできる得難い機会であり、真宗学・仏教学・哲学・社会学・歴史学・仏教文化・国際文化などを専攻する大学院生に受講をお勧めしたい有意義な集中講義です。講師のドビンス教授はアメリカにおける浄土真宗研究の権威です。今回、日本の大学院生のための特別セミナーでは、宗教学（Religious Studies）の歴史を概観する中で主要な理論や方法論を学び、それらを真宗研究に応用する道を探求します。このセミナーの受講を通して、方法的に研究の幅を広げるための示唆を受けることが期待できます。ドビンス先生は日本語にも熟達されているので、言葉の心配はありません。事前にディスカッションのための短いリーディング（英文）が配られますので、毎回予習して参加し、積極的に議論に参加することが望まれます。